

進路情報2018 No.18



進路指導係 笠原

☆前期選抜と学校推薦について

①前期選抜（自己推薦）とは？

前期選抜は、自己推薦型選抜と呼ばれています。「自分で自分を推薦する」のです。学校推薦とは違う点もありますが、推薦であることに変わりはありません。前期選抜を受検する場合は、基本的な生活習慣（遅刻なし、中学生らしい制服の着こなし、清掃や給食当番、身の回りの整理整頓等）ができる上で、以下の点を満たしていることが必要です。

①第一希望の高校であること。入学したい理由をしっかりと持っている人。

（後期選抜回避のためや何となくのような希望は適切でない）

②希望する高校・学科の『募集の観点』に、自分が該当すること。

③本人と保護者の希望や考えが一致していること。

④不合格になった場合の対策（進路）が、はっきりしていること。

- ・後期選抜の受検校を明確にしておく。

- ・後期選抜に向け、気持ちを切り替え学習に取り組む決意ができていていること。

自分で自分を推薦するわけですから、自分に自信をもてるということも大切なことです。生活態度、学習成績、生徒会活動、部活動、その他特技やボランティア活動など、自分で自分を推薦できるものがあるという自信がもてるように日々の生活を充実させることです。

また、前期選抜では学校により定員の25～90%を募集します。担任の先生や保護者の方ともよく相談しましょう。

②前期選抜（自己推薦）に向けての準備

選抜の観点と方法は、高校によって異なります。志望校の募集の観点と評価方法をよく理解して、準備をしなければなりません。まず志願理由書を作成します。志望理由や自分の実績などの自己PRを作文します。賞状や証明書などのコピーを添付する場合があります。そして、願書とともに提出します。

選抜検査当日は、面接、小論文などが行われます。面接では、「その場だけちゃんとやればいい」という安易な考えは全く通用しません。いくら当日だけ外側（制服の着こなしや髪型等）を整えても、視線・姿勢・立ち居ふるまい・雰囲気などから内面（真面目さや誠実さ・人との関わり方・物事の考え方など）を見抜くのが面接官です。日々の生活の中で、礼儀や言葉遣いに気をつけ、姿勢を正して生活していきましょう。作文力も大切です。生活ノートをしっかり書くことで、作文力を鍛えましょう。もちろん、字も丁寧に書いてください。小論文では、普通のテストを長文記述の形式にただけのような課題を出す高校もあります。昨年までの傾向を調べて、練習しておくことも大切です。

③学校推薦とは？

学校の調査書作成委員会や小委員会の検討を経て、学校の推薦を受けるようになります。高校生活3年間、中学校の顔として活躍が期待される生徒、以下の条件をほぼ満たしている生徒が選ばれるようになります。

- ・志望する動機や理由が明白かつ適切で、入学したいという強い希望をもっている生徒
- ・各学校が定める基準（学業成績や出席日数など）を満たす生徒
- ・該当学科に対する適性及び興味・関心がある生徒
- ・各教科の学習、特別活動、行動等の記録が優良な生徒
- ・東中学校の生徒として推薦するにふさわしいかどうかを、全職員が検討し、最後に学校長が学校の代表として認めた生徒

☆保護者懇談会

いよいよ12月です！保護者の皆様、年末のお忙しい中そして寒い中ではありますが、よろしくお祈りします。

生徒の皆さん 準備は進んでいますか？保護者懇談会が終わる頃には、多くの皆さんの受検校や受検形態が決まってくることでしょう。それを受けて、いよいよ、受検校別に準備を始めます。

「出願手続き依頼書」について

三者面談の時に、「出願手続き依頼書」を配布します。出願手続き依頼書は、出願する高校の願書取り寄せから、願書等の記入指導、その他書類の準備を行っていくうえで大切な書類となります。この依頼書の提出により、生徒の出願の意思を最終確認するものともなりますので、必ず期日までに提出してください。ただし、今後の状況で変わるかもしれないという場合も、担任に相談の上、提出してください。直前の変更は書類準備上無理な場合もありますので、ご注意ください。また担任に相談のないまま締め切り後に提出した場合は、願書の不足、書類の準備が間に合わない等の理由により、受け付けられない場合も生じてきますのでご了承ください。

特に気をつけてほしいのは、氏名の文字です。願書、調査書、入試のときの記名等、すべてが同じでなければなりません。三者面談で、住所・氏名・生年月日等を確認しますが、再度の確認をして記入してください。

*推薦に関する心構え

- ① 第一志望であり、合格したら必ずその高校へ行くという意思が必要です。つまり志望理由がはっきりしており、意志が固いことが重要です。
- ② 現在の生活面：基本的な生活習慣（遅刻なし、身だしなみ、挨拶、清掃、給食当番、身の回りの整理整頓など）がしっかり身につけていて、高校進学後も学校のきまりや社会的ルールを守って生活を送ることが期待されることが重要です。
私立・高専の学校長推薦では、特に中学校の代表であること、高校3年間この意識をもってリーダーとして活躍できることが重要です。
- ③ 高等学校からの推薦の基準を満たしていることが必須条件です。

*推薦による合格は内定であり、取り消しもありえます。

*内定後も、後期に向けて学習している仲間たちと共に学習を続けていける心構えが必要です。